

## 特定健康診査等保健事業の実施状況について

## 1 特定健診について

## (1) 受診率（法定報告ベース）

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
対象者数(人)	50,907	50,413	49,000	46,254	44,129	41,895
前年比(人)	▲1,714	▲494	▲1,413	▲2,746	▲2,125	▲2,234
受診者数(人)	22,279	17,958	20,095	18,168	17,300	17,051
前年比(人)	▲266	▲4,321	2,137	▲1,927	▲868	▲249
受診率(%)	43.8	35.6	41.0	39.3	39.2	40.7
前年比(%)	1.0	▲8.2	5.4	▲1.7	▲0.1	1.5
目標値(%)	44.0	44.5	45.0	45.5	46.0	44.0
目標と実績の差(%)	▲0.2	▲8.9	▲4.0	▲6.2	▲6.8	▲3.3

※法定報告は、4/1時点の国民健康保険の加入者で年度中に脱退した者又は途中加入者を除く。また、実施状況（対象者数、受診者数等）は、保険者が国へ報告を行い、次年度の11月に確定する。目標値は、R5までは「第2期前橋市国民健康保険データヘルス計画」、R6は「第3期前橋市国民健康保険データヘルス計画」の計画値。

## (2) 取組内容

## ①個別健診、集団健診を実施

## ②受診勧奨はがきの個別送付等により受診率向上の取組を実施

## 【主な取組み】

- ・受診勧奨はがき（対象者の特性に応じて送り分け）
- ・国保特定健診受け得キャンペーン
- ・国保課発送郵便物に受診案内などの勧奨物を同封

## ③令和6年度の考察

新型コロナウイルス感染症5類移行後、健診はコロナ禍前の実施内容に戻したが、特定健診と同時実施しているがん検診の一部隔年・有料化の影響、さらには受診率が高い高齢者層の後期高齢者医療への移行などから、令和5年度の受診者数は横ばいの状況であった。

令和6年度受診率は1.5%上昇しており、これは、特定健診受け得キャンペーンの実施や、タイムリーなタイミングでの受診勧奨はがきの送付など、受診率向上対策の工夫による効果があったものとする。

④令和7年度の取組み

感染症の拡大状況に注視しつつ、個別健診、集団健診を実施中。引き続き、受診率向上を目指し、効果的で実効性のある取組みの実現に向けた検討を進めている。

具体的には、対象者の受診歴等に応じ勧奨内容を変えた受診勧奨はがきの送付タイミングや、より効果のある受け得キャンペーンの実施方法など、受診率をさらに向上できる方法を検討するとともに、「主治医からの受診勧奨を促進してもらえるよう医療機関への働きかけ」、「窓口での健診周知の強化」などを行い、健診毎年受診の定着及び若年層の受診者数の増加を目指している。

## 2 特定保健指導について

### (1) 実施率（法定報告ベース）

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
対象者数(人)	2,455	1,880	2,318	1,955	1,850	1,706
前年比(人)	▲57	▲575	438	▲363	▲105	▲144
実施者数(人)	639	498	557	468	416	340
前年比(人)	▲64	▲141	59	▲89	▲52	▲76
実施率(%)	26.0	26.5	24.0	23.9	22.5	19.9
前年比(%)	▲2.0	0.5	▲2.5	▲0.1	▲1.4	▲2.6
目標値(%)	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0	28.0
目標と実績の差(%)	0.0	▲0.5	▲4.0	▲5.1	▲7.5	▲8.1

※法定報告は、4/1時点の国民健康保険の加入者で年度中に脱退した者又は途中加入者を除く。また、実施状況（対象者数、実施者数等）は、保険者が国へ報告を行い、次年度の11月に確定する。目標値は、R5までは「第2期前橋市国民健康保険データヘルス計画」、R6は「第3期前橋市国民健康保険データヘルス計画」の計画値。

### (2) 取組内容

#### ① 直営と委託により実施（直営：個別の特定保健指導、運動支援教室等）

##### 【主な取組み】

- ・からだメンテナンストレーニング（初級）（運動支援教室）
- ・まちなかウォーキング
- ・委託医療機関を増やすため医師会への働きかけ

#### ② 未利用者に対し、電話等による利用啓発を実施

#### ③ 令和6年度の考察

令和6年度は実施率向上を目的に、案内通知の見直し、運動支援教室やイベント、特定健診を受けた直後に特定保健指導を実施する「初回分割」の推進を実施。初回分割の利用者も増え、運動支援教室利用者の反応も好評であったが、全体の実施率上昇に結びつけることはできなかった。

#### ④ 令和7年度の取組み

直営においては、電話等による利用啓発を強化すると併せ、希望者には訪問指導実施体制を整え、1人でも多くの指導実施を目指している。また、案内通知をシンプルでわかりやすいものに見直しを行った。

委託においては、医療機関を訪問し資料提供を行うのと併せ、要望等を聞きながら支援を継続した。特に対象者が多い病院系の医療機関については重点的に指導実施の働きかけを行った。

訪問の際、「医師から特定保健指導対象者に利用の呼びかけ」と、特定健診結果説明時に特定保健指導実施の推進を強くお願いした。

### 3 その他保健事業の取組状況

#### (1) 特定健診特別金利定期預金（あかぎ信用組合）実績

	R2	R3	R4	R5	R6
契約者数 (人)	34	23	23	26	9
預金金額 (千円)	83,361	49,500	55,772	63,003	12,000

※令和元年度から実施。令和7年度も、継続実施中。

#### (2) 特定保健指導における国保総合健診当日の初回面接分割実施実績

	R2	R3	R4	R5	R6
実施者数 (人)	32	75	72	73	95
実施率 (%)	86.4	90.3	93.5	81.1	81.9

※令和元年度から実施。令和6年度は、地区集団健診（健康づくり財団）でも1回試行実施し、8人に初回面接分割を実施。

#### (3) 群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムによる受診勧奨実績

	R2	R3	R4	R5	R6
勧奨者数 (人)	48	54	50	78	72
受診者数 (人)	32	34	36	60	45
受診率 (%)	66.7	63.0	72.0	76.9	62.5

※令和6年度は令和7年12月時点の暫定値。令和7年度も、医療機関と連携して実施中

#### 4 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施について

令和3年度から地域の医療関係団体等と連携を図りながら、後期高齢者医療、国民健康保険、介護予防、健康づくり等を担う関係各課が連携し、高齢者に対する重症化予防やフレイル予防などを一体的に実施。

事業	R4		R5		R6	
	支援人数	延件数	支援人数	延件数	支援人数	延件数
①糖尿病性腎症重症化予防 (個別訪問指導)	14人	41件	14人	42件	23人	36件
②低栄養防止 (個別訪問指導)	8人	18件	24人	66件	13人	36件
③フレイル予防教室 (集団健康教室)	64人	187件	73人	235件	122人	344件

※令和5年度までは5圏域、令和6年度は7圏域で実施。令和7年度は11圏域で実施中。